

佐世かわこだより



第38号

平成28年7月31日

発行：佐世地区振興協議会

TEL&FAX (0854) 43 - 2110

E-mail:sase-c@hotaru.yoitoko.jp

温かい見守りができる地域づくりを！

認知症サポーター養成講座開催(福祉部)

認知症高齢者にやさしい地域づくりをすすめるため6月19日(日)雲南市地域包括支援センターの和泉ちひろ保健師を講師にお迎えして、認知症サポーター養成講座を開催しました。

自治会長・福祉正副部員をはじめとして、43名の出席がありました。

「祭りの集金」と題したロールプレーでは、出席者が3人1組となり、おじいさん、おばあさん、娘役を演じました。日常会話のロールプレーを通して、出席された皆さんは、認知症の人やその家族の気持ちを感じ取ることができ、その後の講師の専門的なお話も理解しやすかったようです。

最後に、ストーリーを変えずにもう1回行ったロールプレーでは、お互いを思いやりながらの会話になりました。

アンケートでは「実際の対応は難しい。」「余裕をもって接していきたい。」「地域全体で考えたい。」「父が認知症でしたのでよくわかり、その当時この講座を聞いていればよかった。もう少し楽に対応できたかもしれません。」という意見をいただきました。

認知症の人の気持ちを体験でき、対応の仕方が勉強になり、さらに周りの人が支えていく必要性を強く感じた講座となりました。



◎久しぶりに会えて話すことができて良かった◎

佐世ボランティアクラブ四葉会

佐世ボランティアクラブ四葉会では、ひとり暮らし高齢者と昼間ひとりの高齢者の方々との交流会を6月29日(水)に開催し、19名の皆さんが出席されました。

「まめだったかねえ。」と参加された皆さんは久しぶりの再会をととても喜ばれ、お茶を飲みながら話しが弾みました。

お昼は、会員による手づくりの昼食を交流センターの職員も加わってにぎやかに食べました。

そして、自己紹介。「いつもは、ひとりで食べているけれど、今日はにぎやかにごちそうを食べられて良かったです。」など感想を述べられ、皆さんの元気な声に、パワーをいただきました。歌のコーナーでは、マイクを握って好きな歌を歌ったり、みんなでなつかしの歌を合唱してまた会うことを楽しみにお別れしました。



佐世幼稚園児との交流活動

生涯学習部

～芋苗植え交流～

6月9日（木）、寿朗会の皆さんと生涯学習部員が参加し、園児たちと和やかな雰囲気の中、園舎横の畑で芋苗植え交流を行いました。

寿朗会のみなさんからさつまいもの植え方を教えてもらい、80本の苗を植えました。

園児たちは「いつ食べられる?」「早く食べたい。」と、はやくも収穫を楽しみにしながら、楽しく交流いたしました。



☆☆七夕飾りづくり交流☆☆

☆彡 ☆彡

7月7日（木）寿朗会の皆さんと生涯学習部員が参加し、あいさつ、自己紹介で始まり七夕飾りづくりがスタート。園児は自分で考えて作ったり、「何を書くの?」とお願いごとや作り方を寿朗会のみなさんに教えてもらったりなど、ほほ笑ましいすがたが、あちこちで見られました。

笹がたわんで折れそうなくらいの3本の七夕飾りが完成し、園児たちはとても満足そうな顔で、はしゃいでいました。



マスラー健康体操 (生涯学習部)

6月18日（土）佐世出身のマスラー(株)代表取締役 細木信重さんを講師に迎え「マスラー健康芸術体操教室」を開催しました。

講師先生から「人間の骨は206あるといわれ片足26の骨、両足そろえて52の骨の活性化につながる。足裏、ふくらはぎ、足首ひざ関節などの筋肉をほぐし心身ともに健康になる。」とのお話があり、さっそくマスラー健康器具を使い足踏み運動のリズムに合わせ実践しました。



○虫かご・松ぼっくり飾りの寄贈



7月13日（水）青木久光（潤谷）さんより佐世幼稚園の園児の皆さんに、虫かごと松ぼっくりを使った飾りをご寄贈いただきました。園児たちはとても大喜び。ありがとうございました。



「佐世っこひろば」スタート 【総務部】



この事業は、学年の異なる子どもたちの交流や地域の大人たちとの交流により、子どもたちが人との付き合い方を学びながら、思いやりの心を育て、地域の中でよりよく育つことをねらいとしています。

平成19年から子どもの居場所づくり事業として始まり、ボランティアスタッフの皆さんの協力により、小学校体育館・校庭を会場に取り組んでいます。「佐世っこひろば」は、毎週木曜日の放課後に実施しており、宿題をしたり自由に思いっきり遊んだり、元気にたくさん子どもたちが参加しています。今年も6月2日（木）ボランティアスタッフの皆さんと子どもたちとの対面式を行いスタートしました。子どもたちの安全を見守る多くのボランティアスタッフの皆さんのご協力をいただき感謝申し上げます。

「刈払い機・チェーンソー」の安全な使用方法講習会を開催

【地域振興部】

7月17日（日）、佐世交流センターで株式会社中国クボタ雲南営業所所長上代周二さんを講師に招いて、「刈払い機・チェーンソー」の安全な使用方法について、講習会を開催しました。

参加者は、日ごろ使い慣れている機械とはいえ、安全な使用方法の基本を再認識しました。

また、保守点検については、頭部ギヤケースやロングシャフトのグリス注入の方法、刈刃の研ぎ方やよくあるトラブルの解決方法などについて、参加者からの質問が相次ぎ、実演を交えた説明になるほどと納得していただきました。



佐世地区連合寿朗会「健康講演会」開催



= 笑って健康・笑って長生き =



佐世地区連合寿朗会では、7月20日（水）佐世交流センターで、出雲中央病院診療放射線技師の岩崎一人さんを講師にお迎えし「健康講演会」を開催、77名の参加をいただきました。

このなかで、笑いの効能について、精神的、医学的な効果の実証されていること、笑いが周りの雰囲気良くし、健康長寿にもつながることをお話していただきました。

参加者一同、日常の笑いを紹介していただき爆笑の連続で楽しい時間を過ごすことができました。ストレスの多い日常生活、複雑な社会にありながら、人間だけに与えられた特権「笑い」で元気に過ごしていきたいものです。 =笑う門には福来る= 笑って損することはありません！！

*** 笑いの効用は、こんなにもあります。しかも副作用無しです。**

精神的効果

・ストレスが溜まらず人間関係もスムーズに ・やる気を出し身体の動きが良くなる。 ・癒し効果

医学的効果

・自立神経のバランスを整える。 ・免疫力を高める。 ・脳の活性化 ・運動効果
・血液がサラサラ、アルカリ性に ・血糖値を下げる。 ・痛みを和らげる。

=佐世文化協会30年を迎えて=

戦国時代この佐世の地を治めた佐世氏は、文化に造詣が深く、特に八代の清宗の書画が数点残されています。以来、この佐世の地からは多くの文化人を輩出しています。

佐世文化協会は、故 田中義教氏、故 森山正治氏が発起人となって結成され、会員の作品の発表の場として年1回「佐世文化展」を開催し現在に至っています。

今年は、発足以来ちょうど30周年に当たり、このほど総会を兼ねて安来市足立美術館へ研修に行き、佐世文化協会の更なる隆盛を誓いました。

行事予定

8月

- 6日(土) 七夕飾りづくり(佐世っこひろば)〔総務部〕
 - 〃 大東七夕祭り行列参加
 - 〃 子ども読書会
- 10日(水) 地域防災講習会(大東高校課外活動)
- 14日(日) 雲南市成人式
- 15日(月)~16日(火) 休館
- 17日(水)~18日(木) 大東高校子育てグループ活動
- 18日(木) 子育てサークル
 - 〃 夜間パトロール〔青少年健全育成連絡会〕
- 23日(火) 大東町地域自主組織連絡協議会〔総務部〕
- 24日(水) 総務部会
- 28日(日) 佐世地区グラウンドゴルフ大会〔体育部〕
 - 〃 水辺の教室「鮎のつかみどり」〔地域振興部〕

9月

- 上旬 環境美化作業〔佐世地区連合寿朗会〕
- 3日(土) 子ども読書会
- 12日(月) 老人週間事業〔佐世地区連合寿朗会〕
 - グラウンドゴルフ大会・ペタンク大会
- 18日(日) 第38回佐世地区バドミントン大会〔体育部〕
- 29日(木) 料理教室〔佐世地区連合寿朗会〕

体育部

第32回

佐世小学校竣工記念

ゲートボール大会

日時：平成28年6月12日(日)

会場：佐世小学校グラウンド

<大会結果>

- 優勝 神代自治会
- 準優勝 原口自治会
- 第3位 芹谷自治会B
- 〃 潤谷自治会B

第65回佐世地区

バレーボール大会

日時：平成28年7月17日(日)

会場：佐世小学校体育館

<大会結果>

- 優勝 宮上自治会
- 準優勝 城山自治会
- 第3位 中筋自治会

休館のお知らせ

8月15日(月)・16日(火)はお盆のため休館いたします。

ただし、会館貸出業務は通常どおり行います。

ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いたします。

善意に
感謝します

〔香典返し〕

宇山 充茂 様 (宮上)

兒玉 敏美 様 (中筋)

和久利啓一 様 (免別)

高橋 敬二 様 (若木)

錦織 謙 様 (師弟)

〔見舞返し〕

川島 透 様 (陰地)

〔一般寄付〕

マスラー(株)細木 信重 様

ありがとうございます

ございました